

# リアルバトルファクトリー企画レポート

文責：1192、リイズ

## 1.はじめに

今は昔、「ポケットモンスター エメラルド」の名物バトル施設『バトルファクトリー』を、3DSソフト「ポケットモンスター オメガルビー・アルファサファイア」で再現した対戦を会員同士でやっちゃおうよ！

バトルファクトリーとは、大雑把に言ってしまうえば、使用可能なポケモンの技・能力値・持ち物（併せて『型』と呼称）が既に決まっている状態で、その中から実際に使用するポケモンを自身で選択し、CPU と対戦し連勝を目指す施設である。

それを 6 世代のロムで再現しちゃおう、というのが今企画の主旨。すなわち、型の既に決まったポケモン群（プール）を用意し、プレイヤーがそのプールを見て即興で構築を組み、対戦するという企画である。リカバリーTA 同様、即興での状況把握能力が問われることになるだろう。

## ルール

- ・ダブルバトル、フラットルールでの通信対戦を行う。試合の勝敗は原則としてゲーム内の判定に準ずる。
- ・プールは 2 種類用意する。
- ・1つのプールには 30 体のポケモンがいる。
- ・ポケモンは、プールの中から 6 体選んで使用する。型の変更は不可能。
- ・プールに採用される型は、すべて異なるポケモンであり、また持ち物もすべて異なる。プール 1 とプール 2 にも共通しているポケモンはいない。
- ・メガシンカに必要な持ち物を持ったポケモンはプール内に居ない。
- ・プール内の型の努力値配分は、2 点全振り、あるいは、1 点全振り+2 点半振り(124,132 振り)である。
- ・プレイヤーには、お互いまったく同じプールを与える。
- ・プールを見てから構築を決めるまでの制限時間は 10 分である。
- ・どちらのプールも、「めざめるパワー」を覚えたポケモンはいない。
- ・再生回復技と PP5 の技には『ポイントマックス』を使用している（一部例外あり）。
- ・参加者 1 人につき各プールで 1 試合ずつ、1 人あたり計 2 試合行う。
- ・故意の TOD（対戦時間終了時に勝負がついていない場合に残ったポケモンの数、残ったポケモンの HP の割合、残ったポケモンの HP の合計の順で勝敗が決まることを利用した判定勝ち）は禁止とする。

## 2.個体一覧

当日プレイヤーに配布された個体一覧表を掲載する。

※配分の大文字は 252 振り、小文字は 124 または 132 振りを表している

※「メロメロ」「ゆうわく」などを持つポケモンがないため、性別は記載していない

※「ポイントマックス」を使用している技には\*印が付いている